

視点 4. 快適で安全に利用できる

○誰もが建物を快適に利用するために主に次の点に配慮します。

○トイレでの配慮



(チェックポイント)

- 荷物や杖を置く棚やフックなどをつけている。
- 高齢者や障害者が安全に利用できるよう手すりを設置している。
- トイレの操作ボタンがある場合、誰もが操作しやすい位置に操作ボタンを設置している。
- 車いす使用者も使えるスペースを確保している。

○緊急時の配慮



(チェックポイント)

- 緊急時に、視覚障害者や聴覚障害者に緊急事態であることを伝える工夫をしている。

○受付や窓口対応などを行う場合の配慮



(チェックポイント)

- 車いす使用者が利用できる高さのカウンターや記帳台を設置している。

○店舗など商品が陳列されている場合の配慮



(チェックポイント)

- 車いすでも品物に手が届く高さの商品棚を設置している。
- 高い位置に商品があっても鏡などをつけて何があるか分かるようにしている。

もっと詳しく知りたい方は、こちらをご覧ください

- ・店舗等内部のユニバーサルデザイン整備ガイドライン 東京都福祉保健局
- ・身近なバリアフリーハンドブック 東京都都市整備局
- ・都立建築物のユニバーサルデザイン導入ガイドライン 東京都財務局

(発行年月) 平成 25 年 3 月
 (発行) 〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
 調布市 都市整備部 交通対策課
 TEL : 042-481-7454
 FAX : 042-481-6800



登録番号
(刊行物番号)
2012-273

小規模建築物・既存建築物のバリアフリー

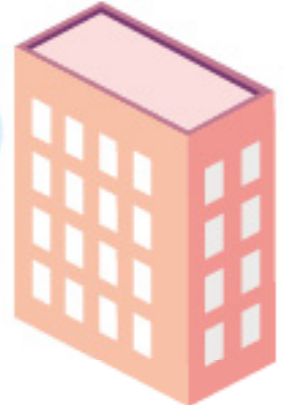
なぜ小規模建築物・既存建築物なのか

新築の大規模な建築物はバリアフリー法や福祉のまちづくり条例などにより、高齢者や障害者の方も円滑に利用できるような整備が進んでいます。

しかし、法律や条例の対象とならない小規模な建築物や既存の建築物については、多くの場合で、高齢者や障害者の方が円滑に利用できるような整備が進んでいません。

みなさんが身近に利用する小規模建築物や既存建築物のバリアフリー化の推進が求められています。

新築の大規模な建築物はバリアフリー化が進んでいます



バリアフリー整備

身近に利用する小規模な建築物や既存の建築物のバリアフリー整備が必要!



バリアフリー未整備

バリアフリーの4つの視点

誰もが気持ちよく建物を利用できるように次の4つの視点に基づき小規模建築物・既存建築物のバリアフリー化を推進します。

- 視点1. 建物に円滑に入れる
- 視点2. 建物内を移動できる
- 視点3. 分かりやすく利用できる
- 視点4. 快適で安全に利用できる



視点1. 建物に円滑に入れる

○誰もが建物に円滑に入れるようにするために主に次の点に配慮します。

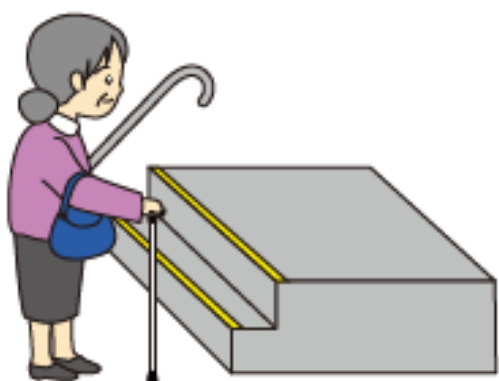
○出入口の配慮

(チェックポイント)

- 車いすでも通行できるように段差がない状態にしている。もしくは段差の解消を行っている。
- 段差を解消できない場合の対策としてスロープ板などを用意している。



- 車いすでも通行できるように出入口の幅を確保している。
- 段差がある部分は、つまずくことを防ぐために段鼻※に色をつけて目立つように工夫している。



- 出入口が分かりにくい場合、誰でもすぐに分かるように案内表示を出している。



視点2. 建物内を移動できる

○誰もが建物内を移動できるようにするために主に次の点に配慮します。

○建物内の配慮

(チェックポイント)

- 車いすでも通行できるように段差がない状態にしている。もしくは段差の解消を行っている。



- 車いすでも通行に支障がないように通路の幅を確保している。
- 建物内を車いすでも移動できるようにレイアウトを工夫している。
- 安全に階段を利用できるように、手すりを設置している。



- 転倒やつまずきを防ぐために階段の段鼻※を目立つ色にしている。
※段鼻 階段の先端部

視点3. 分かりやすく利用できる

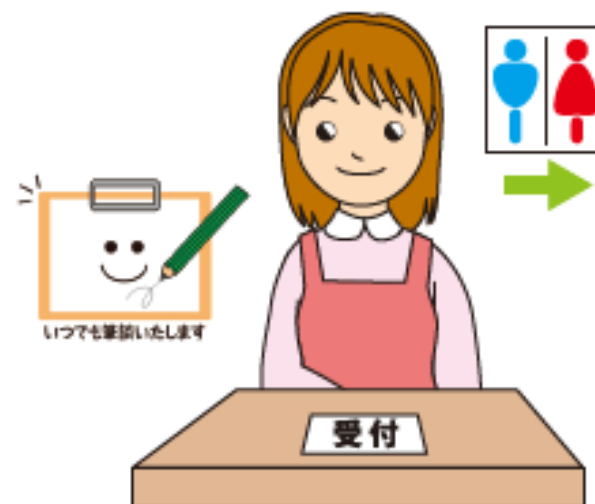
○誰もが分かりやすく利用できるようにするために主に次の点に配慮します。

○案内に関する配慮

(チェックポイント)

- トイレなどの位置がすぐに分かるようにサインを設置している。
- サインは見やすいように文字・ピクトグラム※の大きさや色に配慮している。
- 筆談等ができる場合など、その旨を入口や受付などで示している。

※ピクトグラム
「絵文字」「絵単語」などと呼ばれ、情報などを示すために表示されるサイン



○表示に関する配慮

(チェックポイント)

- レジは客側からも金額が確認できるものになっている。
- 診療所などの場合、待ち時間などを表示している。
- 順番待ちがある場合、待っている人数などを表示している。

○音に関する配慮

(チェックポイント)

- エレベーターがある場合、止まる階数などを音声で伝えるようにしている。
- 順番待ちがある場合、音声による読み上げで番号を伝えるようにしている。

